

# 新型コロナウイルス関連対策本部ニュース

日本共産党大阪府委員会 発行 vol.21 2020.12.8

## コロナ・アンケートに悩み、要望びっしり

JCP 大阪の「コロナ・アンケート」に 236 通（7日現在）の回答が寄せられています。

### 感染者がでても PCR 検査を受けられない

「怪しいと思ったら、すぐに検査できる体制を」  
「子どもの学校、父が入所している施設で感染者がでた。『マスクをしている』などの理由で PCR 検査は受けられない。感染者の近くにいた職員、希望する方には検査ができるように」

「わが子は小学生。“子どもはかかりにくい”“濃厚接触者にあたらぬ”と検査をしないのはやめてほしい」「お正月は、子にも孫にも会えない」

### 医療は危機的状態

「手術が4月から6月にのびた。ステージⅡがステージⅢに進行していた」「手術の日程を延期した。いつできるのかわからないので困っている」「大阪の医療は危機的状態。知事、大阪市長は有効な手立てを行っていない」「総合病院の看護師をしていたが、無策に不安を覚え、退職した」

### 母が精神的に不安定

「92歳の母と2人暮らし。自粛、自粛、がまん、がまんで母親が精神的に不安定になっている」  
「耳が不自由で電話もできない。感染したらどこへ連絡すればいいのか。ほとんど外出を控え、足も弱くなった」

「生活を維持できない。生活不安の解消は、経済活性化ではなく、最低保障だと思う」

### 持続化給付金、底をついた、受け取れなかった

「持続化給付金が底をついた。もう一度支給を」  
「どの給付金、支援金も条件が合わず、特別給付金しか受け取れなかった」  
「勤務先の親方が持続化給付金の申請でトラブル。親方は『国の混乱はひどい』と」

「雇用調整助成金の手続きを簡素化して、スピーディーにしてほしい」

「雇用を安定させてほしい。夫の分まで稼がねばと思うが、自助努力には限界がある。暮らしが落ち着いたら、誰かを助けたい」

### 学生、女性、子ども

「学生が置き去りにされている。一人暮らしで大学に行けず、ウツを発症、命の危険が迫る」

「授業料減免を推進して退学者が減るようにしてほしい」

「女性や子どもの自殺が増えていることに胸が痛む。助けを求めにくい人への対応を早急に」

### 政治のあり方

「現政権のコロナ対策はあまりにも短絡的」「なぜトンチンカンなことしかしないのか。GoToなど」  
「これまで政治に関心がなかったが、コロナにより国会中継を見るようになり、安倍・菅内閣、自公維の異常さに恐怖を覚えるようになった」

「この機会に、経済政策の方向転換を求めます」

## 読者 100 人以上が署名集めてくれた

北河内南地区 153 支部

北河内南地区 153 支部は、「赤旗」読者に PCR 検査の拡充を求める署名への協力をお願い。2日までに 100 人以上の読者から署名が寄せられ、327 筆にのぼりました。

11 月に、手紙と署名用紙を読者に配布。手紙で、「感染拡大を抑えるため署名にご協力を。集金の際に集めます」とお願いしていました。